2025 年 6 月 26 日

報道関係各位

GMO メディア株式会社

受講者の 8 割以上が “実務に直結するスキルアップ”を重視

～　Web デザインスクール「コエテコキャンパス byGMO」口コミ調査　～

GMO インターネットグループの GMO メディア株式会社（代表取締役社長：森 輝幸　以下、GMO メディア）が運営するプログラミング・Web デザインスクール検索サイト「コエテコキャンパス byGMO」（URL：https://coeteco.jp/campus）は、2024 年 1 月 1 日（月）から 2024 年 12 月 31 日（火）までの期間に Web デザインスクールへ入会した受講者 249 名を対象に、満足度や学習環境に関する口コミ調査を実施しました。

その結果、最も高く評価されたのはメンター（指導者）による「実務に直結するスキルアップ支援」であり、また 8 割以上の受講者が「具体的なアウトプット」で実践的なスキルを習得させることに重点をおいていることがわかりました。

■調査サマリー

・メンター（指導者）満足度では、過半数が「5：満足」と回答（54.2%）

・学習継続のモチベーション維持の工夫として「SNS やコミュニティでの受講生同士の交流」した人は 23.9%

・受講生同士の交流の場が「ある」と回答した人は 94.8%と高水準

・使用端末は「macOS ノート PC」が最多（40.9%）

・スクールでの課題の内容は、「成果物（Web ページなど）を作り上げる課題」（65.1%）が圧倒的に多く、次いで「ポートフォリオ制作の課題」（17.8%）

■調査概要

調査名：Web デザインスクール受講者の口コミ調査

調査対象： 2024 年 1 月 1 日（月）～2024 年 12 月 31 日（火）に Web デザインスクールに入会し、「コエテコキャンパス byGMO」に口コミを投稿した受講生

男女比： 男性（54.1%）、女性（43.9%）、その他（2.0%）

年代：10 代～60 代

総回答数：249

調査方法：インターネット調査

調査主体：「コエテコ byGMO」編集部

■調査背景

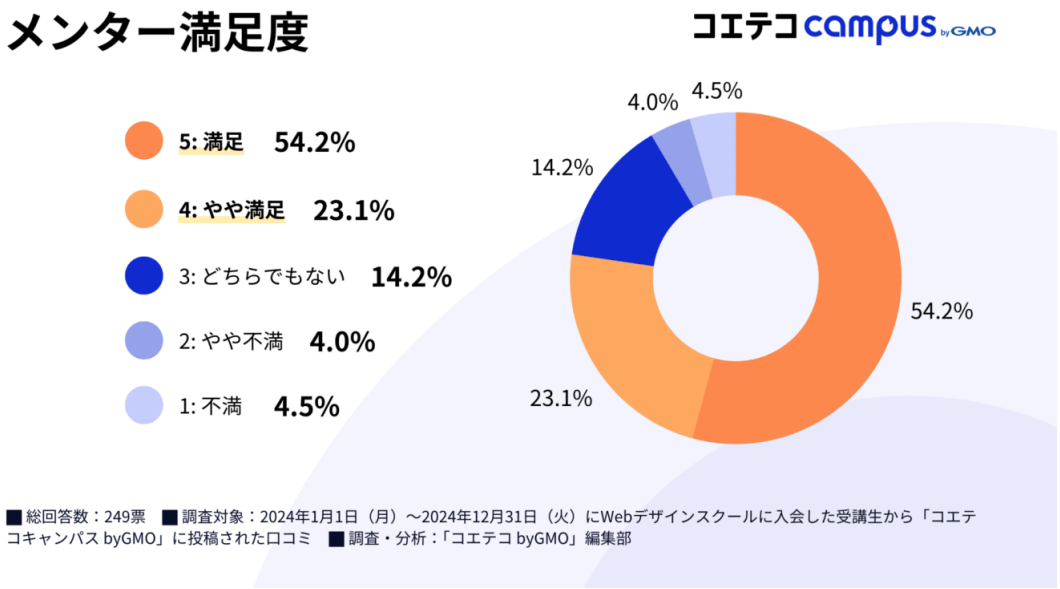
デジタル化が進む現代社会において、プログラミングや Web デザインのスキルはますます重要視されています。特に、働き方の多様化や IT 業界の成長に伴い、これらのスキルを身につけることがキャリア形成の上でも欠かせない要素となっています。一方で、数多くの Web デザインスクールが存在する中で、受講生が自分に合ったスクールを選ぶのは容易ではありません。受講生のリアルな声をもとに、スクール選びの傾向や実態、特徴を明らかにすることで、今後の受講希望者が安心して学びの場を選べるよう支援することを目的に、本調査を実施しました。

■調査の詳細

https://coeteco.jp/articles/14757

【調査結果】

調査 1： メンター満足度



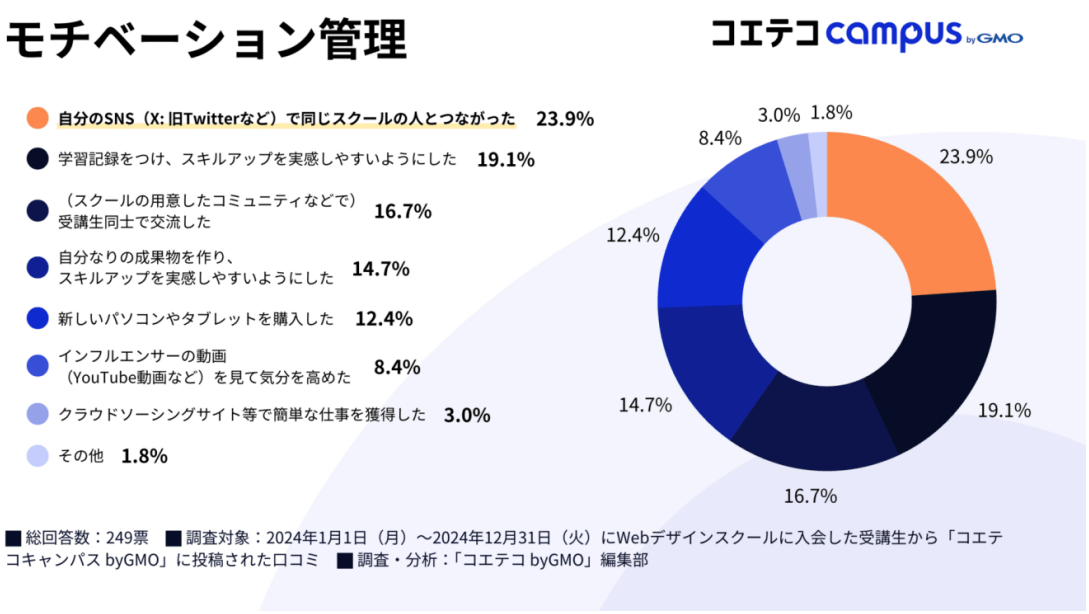
Web デザインスクールのメンター（指導者）への満足度は、「5：満足」（54.2%）が最も多く、次いで「4：やや満足」（23.1%）と続き、高評価が全体の 77.3%を占めました。

特に「現役のデザイナーから直接フィードバックがもらえる点が良かった」「ポートフォリオに対する具体的なアドバイスがありがたかった」といった声が多く寄せられており、実務に直結する支援が評価のポイントとなっていると考えられます。

一方で、「満足していない」「やや不満」と回答した方の評価では、「メンターによって対応の質にばらつきがある」「レビューの返答が遅かった」といった声も見られました。

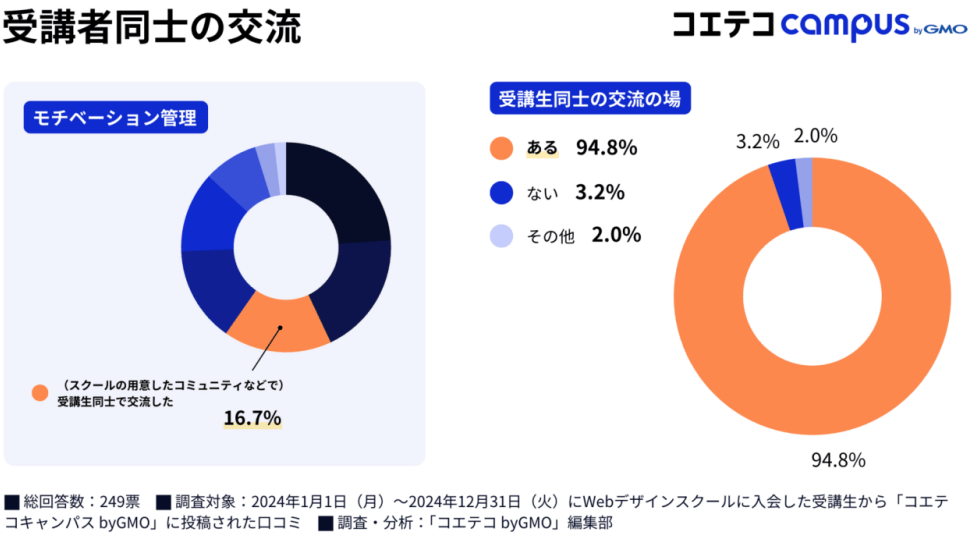
こうした声から、講師の対応品質の安定性が、満足度に大きく影響することがうかがえます。

調査 2：モチベーション管理



学習継続のモチベーション維持には、「自分の SNS（X：旧 Twitter など）で同じスクールの人とつながった」（23.9%）という回答が多く挙げられました。こうしたつながりが、学習環境における孤独感の軽減や、互いに刺激しあえる環境づくりに役立っている様子がうかがえます。

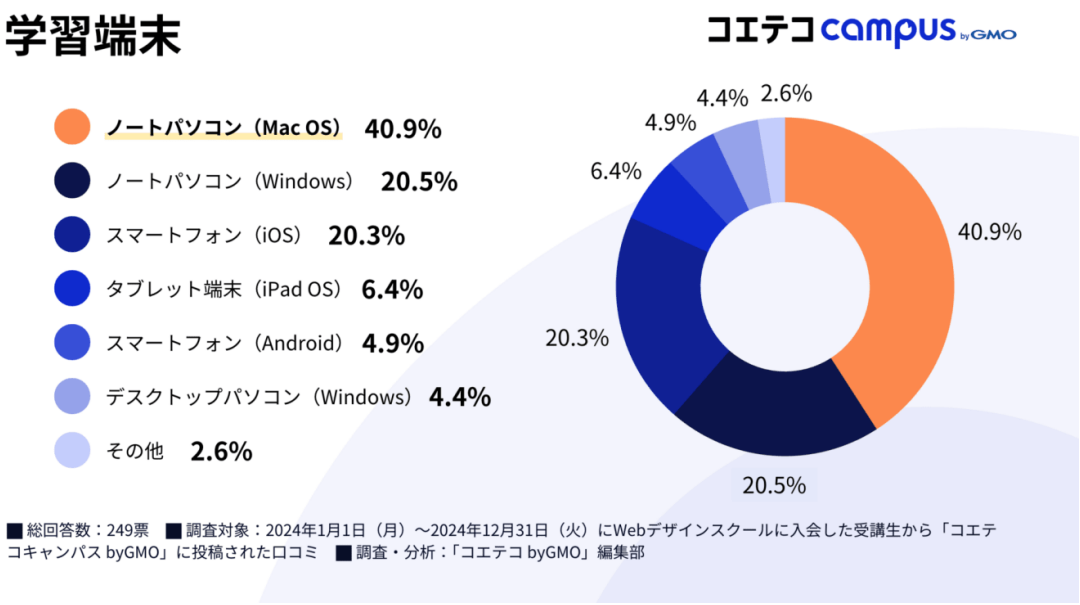
また、「受講生同士で交流した」（16.7%）や「自分なりの成果物を作り、スキルアップを実感しやすいようにした」（14.7%）といった、他者との関わりやアウトプットがモチベーションにつながるケースも見られました。



受講生同士の交流の場があるか尋ねたところ、「ある」と答えた受講生は 94.8%にのぼりました。口コミによれば、Slack などのチャットツールが交流の中心として多く利用されており、質問や雑談が気軽にできる場として、常設のチャットルームが活発に活用されているようです。

前述のモチベーション管理の結果からもわかるように、仲間との交流は学習継続に大きく寄与します。そのため、スクール側が意図的に交流の場を設けることは、受講生の学習満足度を高める一因となっていると考えられます。

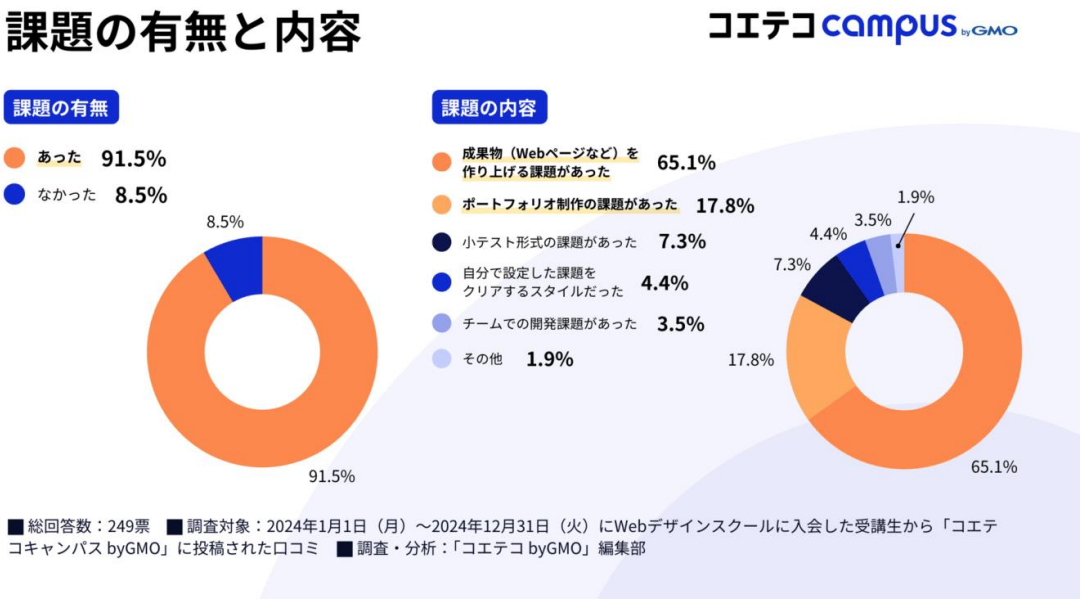
調査 3：学習端末



Web デザインスクールの受講生で、最も多く使われていた端末は「ノートパソコン（macOS）」で 40.9%、次いで「ノートパソコン（Windows）」が 20.5%となっており、全体の 6 割以上がノート PC を主な学習端末として活用していました。一方、プログラミングスクールの受講者を対象に実施した同様の調査 (※1) では、Windows ノートパソコンの利用率が macOS よりやや上回る傾向が見られています。この傾向は、Web デザイン業界において Mac が広く利用されている背景や、操作性の良さ、デザイン系ソフトとの親和性の高さといった要素が影響していると考えられます。

（※1）プログラミングスクール受講生の口コミ分析調査：https://coeteco.jp/articles/14741

調査 4：課題の有無と内容



Web デザインスクールの受講生のうち、91.5%が「課題があった」と回答しており、多くの受講者が具体的な課題を与えられて、それに取り組んでいることがわかりました。その内容は、「成果物（Web ページなど）を作り上げる課題があった」（65.1%）が最多で、次いで「ポートフォリオ制作の課題があった」（17.8%）が続きました。

この結果から、多くのスクールでは、受講生が実際に手を動かしながら具体的な成果物を作り上げること

で、実践的なスキルを習得できるようなカリキュラムが重視されていることがうかがえます。
Web ページ制作やポートフォリオ制作は、就職・転職活動においても重要な要素となるため、受講生が実践的なスキルを身につけ、キャリアに繋げられるよう配慮されていると考えられます。

【総括】

今回の調査により、Web デザインスクールの受講生が「実践的なスキル習得」と「成果物（Web ページやポートフォリオ）を重視していることが明らかになりました。こうした実践的な学びを通じてスキルを高めることが、キャリア意識の変化や副業・フリーランスへの意欲向上につながっていると考えられます。別の調査（※2）でも、「副業やフリーランスに挑戦したい」と答えた割合が、入学時の 46.6%から卒業時には 70.0%へと大幅に増加しており、具体的なアウトプットに重点を置いた学習環境が、そうした意欲を後押ししていることがうかがえます。
また、SNS やチャットツールを通じた受講生同士の交流が学習継続のモチベーション維持に一定の効果をもたらしていたことや、学習端末としては macOS 搭載のノートパソコンが最多だった点も特徴的です。
Web デザイン学習を検討する際には、自分に合ったメンターや学習環境、そして実践的なプログラムが提供されているかを確認することで、より効果的な学びを得られ、新たなキャリアへの意欲にもつながるでしょう。

（※2）入会理由とスクール卒業後のビジョンに関する調査より：https://coeteco.jp/articles/14703

■Web デザインスクール関連記事

・就職支援が充実の Web デザインスクールおすすめ 16 選
https://coeteco.jp/articles/11510
・教育訓練給付金対象の Web デザインスクールおすすめ 11 選！条件も解説
https://coeteco.jp/articles/11511
・UI/UX デザインスクールおすすめ講座 18 選
https://coeteco.jp/articles/11169
・グラフィックデザインスクールおすすめ講座 12 選！安いのか徹底比較
https://coeteco.jp/articles/13105

【当アンケート結果の利用について】

1.当調査結果のデータを引用する場合には、「引用元：コエテコキャンパス byGMO」の表記をお願いいたします。
2.出典元として本ページへのリンク掲載をお願いいたします。
https://coeteco.jp/articles/14741

【「コエテコキャンパス byGMO」について】（URL：https://coeteco.jp/campus）

■社会人向けのプログラミング・Web デザインスクール口コミ数 No.1（※3）

GMO メディアが運営する「コエテコキャンパス byGMO」は、大学・各種学校・社会人向けのプログラミングスクール、Web デザインスクール、Web マーケティングスクールなどについて口コミともに掲載・紹介するポータルサイトです。実際にスクール卒業生にインタビューした記事もあわせて掲載しています。また、各スクールの料金、カリキュラム、運営会社、よくある質問、転職保証などを比較してスクールを選ぶことが可能です。

(※3)2022 年 1 月 13 日発表 プログラミングスクール検索サイト 「コエテコキャンパス byGMO」の口コミ掲載数が国内 No.1 に：https://www.gmo.media/archives/3910/

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO メディア株式会社
コーポレート部　広報担当　黒田
TEL：03-5456-2626
E-mail：pr@gmo.media

●GMO インターネットグループ株式会社
グループ広報部　PR チーム　小犬丸
TEL：03-5456-2695
URL：https://www.group.gmo/contact/press-inquiries/

【GMO メディア株式会社】　（URL：https://www.gmo.media/）

会　社　名	GMO メディア株式会社　（東証グロース市場　証券コード：6180）
所　在　地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号　セルリアンタワー
代　表　者	代表取締役社長　森　輝幸
事　業　内　容	■メディア事業　　■ソリューション事業
資　本　金	7 億 6,197 万円

【GMO インターネットグループ株式会社】（URL：https://group.gmo/）

会　社　名	GMO インターネットグループ株式会社（東証プライム市場　証券コード：9449）
所　在　地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号　セルリアンタワー
代　表　者	代表取締役グループ代表　熊谷　正寿
事　業　内　容	持株会社（グループ経営機能） ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資　本　金	50 億円

※記載されている会社名・製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。
Copyright (C) 2025 GMO Media, Inc. All Rights Reserved.